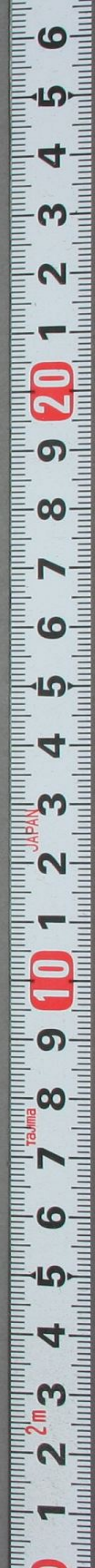




和算叢書

二 2
708
117



和算叢書

測流

算法草術

卷三五

身外加法

二叔2

708

117

門 = 2
號 708
卷 117

關流

關流算法草術卷之二十八

加減乘除之法

身外加法



元銀を賣入百六拾七文八分有七割の利と加へ
く之利何程と問

答云 七割七厘拾二文八分八厘

辨云元銀 を賣入百六拾七文八分 と云く尾位より身外小

一と加へく之利の銀 を賣入百六拾七文八分 と云く高

毎月兼之石二斗或外六合六文を賜ふを年

の法米何程と向

言云 比拾二石入斗を升八合

測之毎月端の米 二石二斗式 と云く尾位より

升卯より二と加し一斗の法米 比拾二石入斗 と

得る合同

本比百六拾八斗有量と代銀拾二文惣代銀

何程と向

言云 六貫。比拾八文

測之本 比百六拾八斗 と云く尾位より升卯より二と加し

惣代銀 六貫。比拾八文 と向る合同

布式大八丈八寸有量と代銀五斗比分惣代

銀何程と向

言云 三石九斗九合

測之布 式大八丈八寸 と云く尾位より升卯より二と加し

惣代銀 三石九斗九合 と向る合同

軍仕式万八斗七斗八拾五斗有量と小米三斗六升

と端の惣米何程と向

言云 三斗八斗六拾五斗六升

粥之軍士 武万八子七 と主く尾位八拾五の身印八と

加く三子八拾六拾と得る合同

淨海昨百七拾六有能三行二百六拾五と得る合同

言云 武拾八黄百六拾五

粥之煙草 百七拾六 と主く尾位八拾五の身印八と加く

く武拾八黄百六拾五と得る合同

精米八石六斗七升有印武刻す八と之の

精米八石六斗七升有印武刻す八と之の

言云 七石。八斗七合六分

粥之精米 八石六斗七升と主く尾位八拾五の身印八と刻す

と加く七石八斗七合六分と得る合同

け法算算の首位八拾五の身印八と

一方八拾五の身印八と法算算の首位八拾五の身印八と

と加く七石八斗七合六分と得る合同

浪三貫武百武拾八分八と九拾三貫八分八と

言云 拾三分八分

言云 拾三分八分

粥之首三貫武百武拾八分八と九拾三貫八分八と

九と加し〜まゝ人の浪拾二文と成る合同

純子九拾貳斗の代浪黄九拾八文貳斗なり
まゝの代浪何程と問

善云 比拾又貳六斗

粥云 惣代浪比黄百九拾八文貳斗と成る首位不身卯小

八と加し〜まゝの代浪比拾八文六斗と成る合同

米九石二斗の代浪八百。二斗二斗と成る首位不身卯小
の代浪何程と問

善云 八拾六文七斗

粥云 惣代浪比百六文と成る首位不身卯小

七と加し〜まゝの代浪比拾六文七斗と成る合同

米七拾五石九斗を斗の代令九拾比両方り合
まゝの代浪何程と問

善云 七斗六升八合

粥云 米七拾五石九斗と成る首位不身卯小六と加し

〜合を成る米七斗六升八合と成る合同

令九拾石の代浪黄七百比拾又貳六斗なり
あ智何程と問

言云 六拾。又比ふらへ

洲云根 八費七百也
拾八五と云く 首位。身外外を如く

と云 六拾。又比ふらへ

個法百貳拾三費入百六拾七文有者減ふと云

何種と云

言云 百貳拾八費七百拾六文

洲云個法 百貳拾三費入
百六拾七文と云く 首位。身外外

と云加へて 百位よりと云く 止る所者減 百貳拾八
費七百

拾八と云く 合同

法教の首位九方はもの二の内を法教と減

して餘りと加法と云ふなり 法教の首位一

なるものも之を法教なり 首位九方なるものも

除法なりけ加法減法なり

身外減法

算字發書又法教の首位なるものもと載く

首位九方はものも之を法教なり 首位

一なるものも之を法教なり 首位

九方今を圓ひたるなり

きく小根武拾二五にふと死か九拾きくふ
く信根何種と向

言云 武黄百武拾九五にふ

洲云きくの根武拾二と重く尾位身外小

九と職武黄百武拾と重く合向

米き衣の代根九拾四五なり米武子百六拾八
石く代根何種と向

言云 武百二拾き黄九百九拾武五

洲米武子百六拾八と重く尾位身外一六

職武百二拾き黄と重く合向

食き衣付米九斗九升と重く合向一七合

三百七拾六あり米何種と向

言云 三百七拾武石武斗比外

洲云令二百七と重く尾位身外一七と職

想米三百七拾武と重く合向

米き石く代根七拾四五なり米九斗八升

く代根何種と向

言云 七拾三五なり米一七

御去まき衣く代袂七拾六文と云く尾位より

身卯ふ二と減して代袂七拾三文七と云く

合同

省袂百貳拾二貫に百八拾六文有袢袂一と云く

何程と問

答云 百拾八貫百貳拾文

袢云省袂百貳拾二貫にと云く尾位身卯ふ

何と減して袢袂百拾八貫百貳拾文と云く合同

凡そ法法教の首位九方一の内の法教

と減し得りと云く尾位より身卯ふ減して

首位卯ふなり

留頭乘法

け法も亦袢見たり倍ふ一と云く

法教の位多き一のまは法甚く一なり

左ふ常くは法と用ひ一と云く

法教の首位と減して次位より順一

乘し一尾位一なり法より首位と云く

なり

縦を實武分三つ法入子六百七拾八才か
のそ実小武分三つとまゝく三つと六百
とと呼く拾八とまゝ又三つと七拾と呼く
武拾ととまゝ又三つと八とと呼く武拾
ととまゝく板法の首位入子と三つとを
呼く三つと破く拾ふ小作ととまゝ七。
こにと才か又武分と六百とと呼く拾武
とか又武分と七拾とと呼く拾にとか
又武分と八とと呼く拾とか板武分と首位

入子とと呼く武分と破く拾小作ととまゝ実
は拾三才。入拾九分はとつたり
けお何とまゝ右のしと一はとまゝ
部く遷洋の学者常くは珍なり

斤下留兩

是亦恐甚く見たりたけ小多実新集と云
才り拾六小除くとのまゝは聲とひく実よ
案して昂高と得たりたてこも百六拾と
とまゝ行ととつたり小實目小此聲ととまゝして

竹殺と得る友小倍不多多新算とくふな

里

一退六二五	二留一二五	三留一八七五
四留二五	五留三一二五	六留三七五
七留四三七五	八留五	九留五六二五

張家とて世傳と拾き入中のこの詞と出せり

假令煙系拾或黄二百及を竹小才として何種

と四

書云 七拾六分八分七分八毛

洲云煙系 拾或黄 二百目とて主とて二二百目と二一八七五

と呼と一八七五小倍と倍小或黄目と二留一二

六と呼と一二五小倍と倍小拾黄五と一退

六二五と呼と一退退と六二五小倍と倍小 七拾

六分八分 七毛とて合同

縦合米入子二百七拾八石と拾六人多くと

まると何種と同

書云 二百八拾石八斗七升八合

羽衣たすきと云ふは、先以衣と八箇入と呼

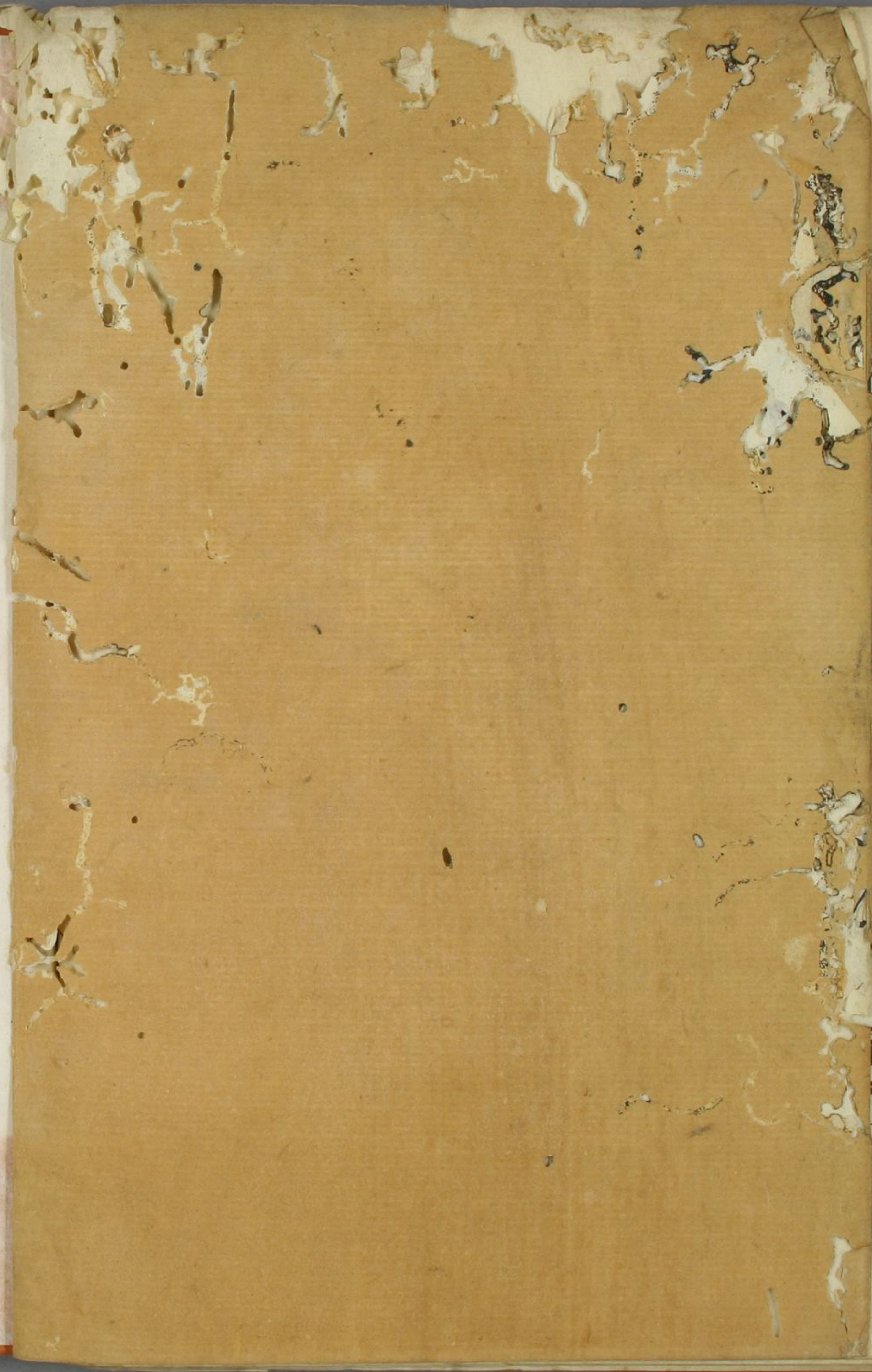
〜ふ羽衣、次は七拾石と七箇石と七入と呼

也三七入小羽衣、次は六百石と六箇石と七入と呼

三七入小羽衣、次は入子石と入箇石と二入小羽衣

〜羽衣入二箇拾石と呼ぶ事あり合同

け解け類皆是為準して知ゆ



Handwritten text in a vertical column, likely a title or chapter heading, written in a cursive script. The text is partially obscured by the damage to the page.

